

# 雪の怖さ 発信に一役

妙高の会社  
ポスター作製

子ども向け1万枚

子どもを雪の害から守る。防災、防雪技術開

上を申し込んだ個人、団体に無料で配布する。

発などを手掛ける妙高市の会社がこのほど、子ども

作製したのは有明会社「アサップ」。ポスター

も向け「冬の危険個所啓発ポスター」Ⅱ写真Ⅱを作製した。漢字に読みがなを付け、イラストを多くしたのが特徴。五部以

はA3サイズで、雪の壁や除雪車を写した「平成十八年豪雪」の写真の中に、イラストで登場する子どもが「あぶない」「気

## ふゆのキ・ケン



をつけよう」と注意を呼び掛けている。

作製のきっかけは、二〇〇五年二月、大雪でフ

エンスが埋まり、見附市の小学生がプールに落ちて死亡した事故だった。防災士の資格を持つ同社の小川克昌社長(三巴)は

「大人だけでなく、子どもにも雪の怖さをきちんと発信しなければいけない」と感じたという。

百枚印刷し、中越地震の被災地や上越地域に配布した。今年は記録的な平成十八年豪雪の直後であることから、二十倍の約一万枚に増やし、配布対象も県内全域に広げる。

小川社長は「どんなに技術開発が進んでも、教育は欠かせない。冬の安全について親子で会話をするきっかけに、ポスターを活用してほしい」と話している。

問い合わせは同社、0

255(73)7772、

またはホームページ、

<http://www.asap-sn>

〇五年、〇六年は約五

0w.com